

# ユーホーム

-Home

# だより

〒708-1222  
岡山県津山市西中 329-1

株式会社 **ユーホーム**

TEL 0868-36-4372

## 第 80 号

uhome-tsuyama 

ただいまゴールデンウィークの真っ只中3年ぶりに行動規制のないゴールデンウィークです。テレビでは、人でごった返している有名観光地や空港、鉄道駅などが映し出されています。高速道路も大渋滞です。まるで三年前に戻ったかのような光景です。あれほど恐れていたコロナ感染症はもう終わってしまったと思わせるようです。



思い返せば、1日当たりの新規陽性者が720人を記録した2020年4月11日がピークだった「第1波」、「第2波」のピークが1605人、2021年になると波がひときわ大きくなり「第3波」は1月8日に7956人と急増しました。「第4波」のピークが7234人。昨年の夏に感染がまた急拡大して「第5波」に。8月20日に2万5995人を記録しました。そして「第6波」は2022年年明け早々これまでにないレベルで急拡大し、2月3日に10万人を突破しました。

今までの波は、急拡大してピークを迎えそして急速に収束に向かうというパターンでしたが、今回の第6波は徐々には下がっているものの、4月末の時点で1週間の平均感染者数が3万6千人余りと、いまだに第5波のピークをはるかに超える感染者が続いています。果たしてこの解禁状態が吉と出るか凶と出るか？

連日ニュースやワイドショーなどでそれぞれ専属の専門家と称する人たちが、いかにもそれらしいことを発言しているのを2年余りも聞かされて来ていると、いささかうんざりとした気持ちとなります。なんとか少しづつでも減少して行き、終息宣言となればよいのと思いますが、専門家の言う通りこのまま収束は難しい・・・？

「ユーホームだより」はもうやめてしまったの？とお客様に聞かれます。気が付けば第79号（平成2年12月）を最後にもう1年半ほどが経過しています。

ユーホームだよりはいつも仕事をしながら切羽詰まったところで書いています。書き始めてから完成するまでずいぶんと時間がかかってしまいます。コロナ関連の話題で始まるページをやっと1ページ書けたと思ったら、いったいいつの話しをしているの？というくらい、コロナのニュースは日替わりでした。また書き直し、また書き直しとしているうちに、どうせ完成してもこんなご時世だから、お客様の所を訪問するのもちょっと気が引けるしなどと考えているうちに、なんと1年半も過ぎてしまいました。





ユーホームだよりは約1000のご家庭にお配りしています。ユーホームだよりと言いながら、その内容はほとんどが私の独り言のような本当にいつもくだらない事ばかり書いています。それにもかかわらず、なかには心待ちにされているお客様もいらっしゃいます。なるべく定期的にお届けしたいと思っておりますので、これまで通りご愛顧よろしくお願いたします。

## 一枚の写真 その3

今回は第75号（令和1年11月）の続きです。

写真は不思議で、たくさんの中から無作為に引き出した1枚を見ただけでも、ああ、これはいつ頃どこで撮ったものだ、あの時はこうだったと、その時の事柄まで鮮明によみがえってきます。わずかに昨日の晩御飯のこと、何を食べたかどう思い返しても全く頭に浮かんでこないのに、たった1枚の写真を見ただけで、その当時のことがありありとよみがえって来ます。その時の道すがらのことや、その時に自分が見た周りの景色さえ思い出します。そういう意味で写真は本当に不思議です。



その時の道すがらのことや、その時に自分が見た周りの景色さえ思い出します。そういう意味で写真は本当に不思議です。

今のようにデジタルになり、撮ったり消したりすることが自由で、とにかくたくさん撮り、その中から要らないものを消して、要るものだけ残しておくのと違い、当時はフィルムも貴重で、必要なベストショットしか撮らなかった、それがかえって印象を強くするのかもしれませんが。

今日は2022年のゴールデンウィーク真っ只中、上の写真は日付を見ると31年前のちょうど今日です。

写真の2人は私の子供です。確か息子が小学3年生、娘が小学1年生だと思います。昨年（1990年）大阪の天保山に「海遊館」という世界最大級の水族館が出来たらしい。その目玉はジンベエザメが泳ぐ巨大水槽で、もうすでに誰も彼もが行ったらしい。それなら遅ればせながら我が家も行ってみるか、となったのがゴールデンウィーク直前の4月後半だったと思います。

カーナビなど無かった当時、地図で調べると天保山はずいぶん遠い。それならいっそのことどこか近くに泊ってから、次の日朝早くに出かけることにしました。インターネットの無い時代、旅行雑誌を買ってきてあちこちに電話をしてみても、直前に迫ったゴールデンウィークに一家4人が泊まれるホテルがありません。困り果てて尼崎に住む義姉さんに相談すると、ちょっと遠くなるけど宝塚にある「宝塚ホテル」が取れました。

聞くと“そのホテルは老舗で結構格式が高いホテル”だという事です。えっ、どんな恰好をして行けばいいの？田舎者のことそんなことまで心配しなくてはなりません。笑い話のようですが、私はその話を真に受けて、その後は着替えるにしても一張羅のジャケットで、妻も子供たちも精いっぱいのおしゃれをして、めちゃくちゃ緊張してそのホテルに乗り込みました。すると何という事か！ロビーにたむろするのは、ふつーに普段着の観光客ばかり、かえって田舎者が目立ってしまったという感じでした。

ホテルは朝夕とも食事は付いていませんでした。しかたなく外に出てすぐ近くの鉄板焼きのお店に入ったのですが、これがまた私たちにとってちょっと高級すぎるお店で、何とも居心地の悪い所でした。朝ごはんはホテルでとればひとり3千円、当時の私たちにとってちょっと悩むところでしたが、子供たちにとっても経験になることと思いホテルでとることにしました。朝ごはんは初めてのビュッフェ（バイキング）でした。このホテルのビュッフェは値段に見合うだけの豪華なものでした。朝からフレッシュな果物や豪華なスイーツ類に子供たちは大喜びでした。

海遊館は朝9時半の開園です。開園には到着しようと思っていたのが、ちょっと出発が遅くなりましたが、休日の朝という事で街中も高速道路もガラガラで調子よく進みました。しかし・・・。

阪神高速の天保山の料金所が近くなったところで急に車が多くなりノロノロ。とうとうほとんど止まってしまいました。何か悪い予感。案の定海遊館方面に向かう車で大渋滞です。海遊館に近づいたところで車の列は海遊館とは反対の方向に誘導されています。着いた先は大きな臨時駐車場でした。そこから先は大型バスによるピストン輸送でした。

朝から大変な思いをしてやっと海遊館に到着しました。ラッキー！海遊館周辺にはそれほど沢山人のだかりはありません。ふと気づくと立て看板があります。

## 『ただいまの待ち時間、5時間30分』

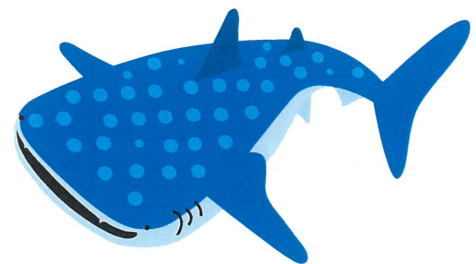
ええっー！5時間30分！？

どうりで人が少ないわけだ。何をして時間をつぶそうか？

しかたなく隣接する天保山ハーバービレッジの中をうろうろするものの、なかなか時間をもて余していました。写真は、あまり人がいない店舗裏の波止で時間をつぶしている時のワンショットです。

写真が持つ魔力かそれとも人の脳がスゴイのか、たった1枚の写真で31年も昔のことを、こんなにもありありと思い出させてくれます。

この後、我が家にとって大変な事態となりますが、また機会がありましたらご紹介させていただきます。





## 日本ミツバチの飼育 (その18)

一昨年の9月20日に、所用で岡山駅近くのイオンの南を岡山駅に向けて走行中のことです。プラタナスの街路樹の一角をラチス格子で囲ってありました。よく見ると格子の上部からミツバチみたいのが沢山出入りしていました。ひょっとすると日本蜜蜂かも？もの好きなもので、車を駐車場に入れて見に行きました。

ラチス格子はプラタナスをグルッと囲っていました。格子の内側には目の小さいネットを張っているのので、蜂は2mくらいの囲いの上からしか出られません。格子の隙間から中を覗いてみると、明らかに日本蜜蜂です。プラタナスの根元の<sup>ほら</sup>洞からたくさんの日本蜜蜂が出入りしていました。

周りを見ると少し離れたところで、明らかにこちらを気にしている人が数人いました。聞けば、この蜜蜂のことが新聞に載ったので見に来たとのことでした。私が近づいたので安心して他の人も近くにやってきました。じっとしていても汗ばむ非常に暑い日のことでした。

ラチスにはA4の看板が取付てありました。

「ミツバチの巣があります。」

- ・ 通行者とミツバチを守るためにフェンスを設置しています。ご理解をお願いします。
- ・ 日本ミツバチは数が減っている大切なミツバチです。

『岡山市北区役所地域整備課』

なんとも粹な計らいです。蜂はどんな蜂でも刺すかもしれないということで非常に危険な生き物です。それがこうも大群となるとたいていの人が恐怖を感じます。それを承知の上で、守ってやらなければならないという取組に感激した次第でした。

昔は蜜蜂がそこらじゅうを飛び回っていました。今はほとんど目にするがありません。私もどうにか増やして自然界に放してやろうと、飼育を試みるのですがやはり人の管理下に置くとなかなかうまくいかない。何年たってもまた振り出しに戻ってしまいます。何とも難しい。



たった一人の独裁者のせいで現代社会においては想像すらしなかった「侵略戦争」が起っています。核の使用や第3次世界大戦の可能性もまったくゼロでは無い状況になってきました。世界が協力して早くそのような脅威が取り除かれるよう願うばかりです。